

# 2021年4月20日掲載 カーゴニュース

## 第一貨物

### 埼玉整備工場と八潮社宅を竣工

#### 整備業務の効率化を推進

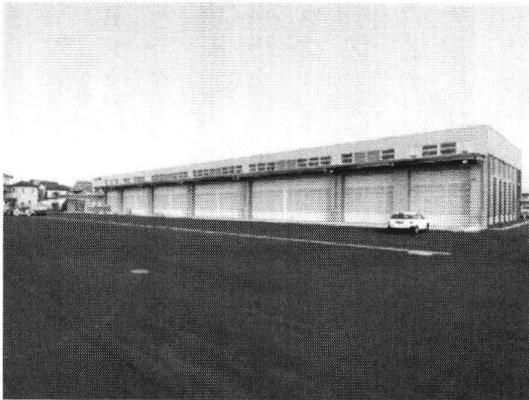
第一貨物（本社・山形県山形市、米田総一郎社長）は14日、「埼玉整備工場」と「八潮社宅」を竣工した。同社では2大旗艦店の「東京支店」と「山形支店」の統合移転を中心とした設備投資計画「東京プロジェクト」を推進しており、その一環として建設を進めていた。

埼玉整備工場（埼玉県吉川市）は東京支店内にある旧来の東京整備工場と八潮支店内にある旧来の埼玉整備工場を統合移転したもの。新たな埼玉整備工場には最新鋭の設備を導入し、車両の整備業務の効率性向上を図る。敷地面積は約9131㎡、延床面積は約2404㎡の

規模で、整備場を9ストール設備（うち塗装専用1ストール）。そのほかに完成車検場や屋内洗車場を設けた。定期整備台数は年間約5000台（うち車検整備約1500台）を計画。将来は約7000台（うち

車検整備約2000台）まで拡充する。

八潮社宅は旧来の八潮社宅に代わって新規で建築し、敷地面積約1870㎡で地上5階建ての建物に47戸の住宅を設けた。埼玉整備工場や八潮支店で働く従業員の居住環境の改善を図るとともに、東京地区での新規採用のための競争力向上につなげていく。



埼玉整備工場



八潮社宅